

連

振り返ろう! クラブのリスクマネジメント! ②

載

NPO法人勝央町健康スポーツクラブ

勝央町健康スポーツクラブではクラブマネジャーがクラブ運営において起こりうるリスクについて調査し、リスクマネジメントを導入しました。さらに一つの事故をきっかけにクラブ内での研修会により一層の力を入れて、「慣れてはいけない、しかし怖がってもいけない」と、意識を高め、運営にあたっています。そこでこれまで行ってきたクラブの取り組みを紹介します。

不安を抱えるよりできることを調査し、見えてきたもの

クラブの設立当初から、クラブマネジャーとしてクラブ運営に取り組む中でさまざまな事態を想定し、リスクについて考えてきました。そこで不安を抱えるよりは、何ができるか、何に気をつければよいかを確認するために、各教室に1年間足を運び、教室開始から終了までに主催者がやらなければならないこと、できることをくまなく調査しました。その結果、注意しなければならないこと、教室担当者が行うこと、指導者が行わなければならないことなどが少しずつ見えてきました。

そして、クラブ内スタッフ・指導者のリスクに対する意識の向上を図るため、運営委員会において「クラブの教室・サークル、イベントの数が増え、クラブの活動が充実し、順調に教室等の運営ができているのは大変ありがたいことです。ここで転ばぬ先の杖、リスクについても考えていきませんか」と提案しました。そのことがきっかけとなり、クラブ主催の研修会として、まず初めに消防署と相談し、救急救命士による救急処置法講習会を開催しました。



救急処置法の研修会の様子

初めての事故をきっかけにクラブ内研修会を実施

クラブ内指導者・スタッフのリスクに対する意識の向上を図るため、先述の救急処置法・熱中症対策等についての研修会を開催していましたが、さらに心肺蘇生法・AEDの操作も研修に加え、最低年1回は開催しています。

しかし、クラブ設立2年目にバスケットボールのサークルで初めて事故が起きました。会員のスポーツ経験者がアキレス腱を断裂するというケガでした。事故の大きな原因は、指導者を含めたスタッフの“気の緩み”でした。まさにリスクに対しての注意が、いつの間にか薄れていた時期に事故が起こったのです。しかし、このケガが戒めとなって、改めてリスクマネジメントに対する意識がクラブ内で高まりました。

そこで、クラブの会員を含めたクラブ関係者すべてを対象に、クラブ内での安全を図るため、ケガの予防・身体メンテナンスに関する研修会を開催することとなりました。研修会では、地域に住むアスレティックトレーナーに講師を依頼し、テーピングの効力や、正しいストレッチの方法など実技を含めた研修会を年に1回定期的に開催しています。

また、クラブの理事長やクラブマネジャーは積極的に県で開催されるリスクマネジメント研修会に参加し、必ず運営委員会等でスタッフに伝達講習を行っています。



クラブ内でスポーツ傷害予防研修会を開催

AEDの設置と緊急時対応マニュアルの掲示

クラブ内でさまざまな研修を行うことで、AEDの重要性が広く認知され、多くの活動施設にAEDが設置されました。また、普段からケガ人が少なく、事務局が安堵していただけるのは、ケガの予防についての研修会を重ねてきたことも大きいと思われます。さらに、各施設には準備運動の仕方等や緊急連絡先を記載した「緊急時の対応マニュアル」が目につくところに貼ってあり、クラブ会員から喜ばれています。

緊張感を持った運営が楽しいクラブライフに！

現在クラブでは、プログラムの一つとして乗馬教室が開催されていますが、生き物を相手にする教室では本当に何が起こるか予測ができません。また、施設の中にはコンクリートの床があり、身体に危害が加わることも考えられますが、施設を利用しないわけにはいきません。どうにもならないことに対しても、諦めるのではなくみんなの意識の持ち方で楽しく行えるとクラブスタッフは考えています。今後も事故を回避できるように、「慣れてはいけない、しかし怖がってもいけない」と肝に銘じて、事に当たるときは緊張感を持って進めていくことで、楽しいクラブライフが生まれると信じています。

(岡山県クラブアドバイザー／野上幸恵)

スタッフの声

★理事長 「クラブ内の安全について、注意しすぎることはないと徹底しています。安全管理には完成品はありません」

★クラブマネジャー 「慣れることが一番怖いと思っています。教室に顔を出しては、『～大丈夫』『～はどうなっている』『あそこはチェックした』等、大きな声を出して確認しているので、いつもうるさく思われています。でも、楽しくできることが何よりなので笑顔になります」

クラブプロフィール

●クラブ概要

総合型クラブの普及が全国的に進み始めたのを契機に、勝央町でも総合型クラブの立ち上げが体育協会・スポーツ推進委員会を中心に検討され始めました。そして、7年前にtotoの助成を受けて「スポーツを通じた楽しく豊かなまちづくり」を理念に掲げ、平成22年10月にクラブを設立しました。設立当初は、6種目・会員99人からのスタートでしたが、現クラブマネジャーの眞下絹子さんが持ち前の明るさとソフトボール競技で培ったパワーで、地域住民への説明を丁寧に繰り返し行い、会員獲得に力を注いだ結果、現在では17種目・337人と会員も3倍以上に増えています。また、スポーツの苦手な方も健康のためにできるような仕掛けを考え、次々と新しいアイディアがあふれる教室やイベント(書道パフォーマンス・乗馬・身体の痛みの予防と改善)等々を開催しています。最近では小学校の学級プログラムや企業の体力測定会等、町内のさまざまな地域に出向いた指導も行っています。さらに、クラブの発展を目指してNPO法人格も今年度取得しました。

●設立年月日：平成22年10月24日(NPO法人格平成28年1月28日取得)

●所在地：岡山県勝田郡勝央町

●運営：会員数337名(平成27年12月31日現在)
予算規模830万円(平成26年度)

●特徴：いつでも・どこでも・だれとでも気軽に身近な施設で、自分に合った運動を選び、健康維持・体力増進を図ることができるように17種目の教室・サークル・イベントを用意し、多くの人々との「絆」を深める一助を担っているクラブです。勝央町でスポーツを考えるには、「まず健康スポーツクラブに行ってみよう！」が少しずつ根付いてきています。

連絡先：〒709-4321 岡山県勝田郡勝央町太平台32-1 勤労者体育センター内
TEL&FAX：0868-38-7123
Eメール：shoo_kenkosportsclub@lagoon.ocn.ne.jp
ホームページ：<http://www.shookenkosportsclub.com/>